

Cisco Stealthwatch

バージョン 7.0 複数の NetFlow エクスポートの有効化 7.0



バージョン 7.0 複数の NetFlow エクスポートの有効化

インターフェースの可視性

トラフィックが通過しているすべてのインターフェースで NetFlow エクスポートを有効化することにより、次の情報がインターフェースレベルで使用可能になります。

- TTL
- 使用率の履歴
- DSCP タグ
- 上位レポート

この情報は、QoS の問題、ルーティングの設定の問題とネットワークのチョークポイントの原因を特定するうえで重要です。

ファイアウォールエクスポート

ファイアウォールは、Stealthwatch リスクインデックスにインテリジェンスを提供する許可/拒否データを提供します（ポリシー違反に関連）。

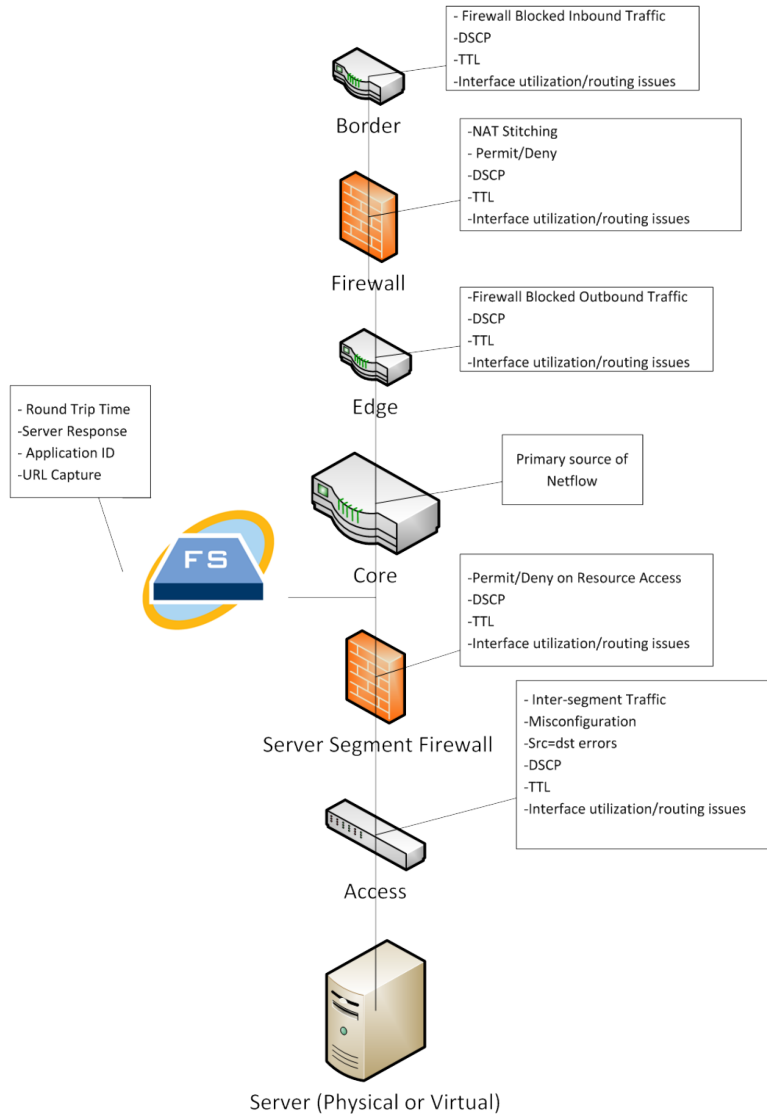
アドレス変換

NAT デバイスからの NetFlow のエクスポートでは、NAT の前と後の両方のフローがスティッチングされます。

Flow Sensor

SW FlowSensor へのトラフィックのスパニングには次の利点があります。

- ネットワークパフォーマンス (RTT)
- サーバパフォーマンス (SRT)
- アプリケーションの認識
- 128 バイトのデータ



著作権情報

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、<https://www.cisco.com/go/trademarks> をご覧ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。